

一般社団法人 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会

2020年度 定例代議員総会議事録

日 時：2020年11月14日（土）15：30～17：00

会 場：日内会館 4階A会議室ならびに Zoom オンライン会議

代議員数：215名

出席者数：196名（本人出席136名、委任状出席60名）

出席理事：石川朗、一和多俊男、植木純、桂秀樹、金子教宏、川山智隆、桑平一郎、神津玲、
権寧博、近藤康博、関川清一、高橋仁美、竹川幸恵、田邊信宏、玉木彰、陳和夫、
津田徹、長谷川好規、福家聡、藤本圭作、堀江健夫、宮川哲夫、森由弘、吉川雅則
（計24名）

欠席理事：石塚全（計1名）

出席監事：石川悠加、黒澤一、長谷川智子（計3名）（五十音順、敬称略）

議事開始について：

定刻15：00にZoomシステムに参加できない事態が発生し、急遽、別のURLを案内して30分遅れて開始した。一和多理事長、桑平副理事長、植木理事、桂理事は会議室に参集いただき、他の理事ならびに代議員はZoomにて参加した。

定款第17条により議長は一和多理事長が務めることが報告された。また、本代議員総会の成立条件である定足数については、定款第19条第1項により「代議員総会の決議は、総代議員の議決権の過半数を有する代議員が出席し、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行う」となっており、また、本総会は重要議案（定款変更）審議のため、定款第19条第2項により総代議員現在数の3分の2以上である144名（委任状含む）の出席が必要であり、本日の総会は、代議員現在数の3分の2以上の出席があった。

よって本代議員総会は成立し、以下の議案について随時審議した。

第1号議案 議事録署名人の選任について〔審議事項〕

定款第23条により、「代議員総会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。議長および代議員総会において選任された議事録署名人1名は前項の議事録に記名捺印する」とあり、黒澤一監事が推薦され、承認された。

第2号議案 学術集会について〔報告事項・審議事項〕

第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会について、陳会長より、準備状況について報告がなされた。2021年3月19日～20日に延期し、会場参集ならびにWebオンラインを併用したハイブリッド開催とし、クレジットカードを導入し、事前参加登録者については割引制を導入する旨、報告があった。

第 31 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会について、森会長より準備状況の報告がなされた。

第 32 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会について、桂会長より準備状況の報告がなされた。

第 33 回学術集会会長については、2020 年 8 月 23 日に開催した理事会で黒澤一先生が推薦されたことが報告され、本会に諮った結果、承認された。

第 3 号議案 学会賞・学会奨励賞受賞について〔報告事項・審議事項〕

陳学会賞選考委員長より、選考結果について報告があった。学会賞 4 件、学会奨励賞 0 件の応募があり、委員会、理事会で審議した結果、以下の 1 件が本会に諮られ承認された。なお、学会奨励賞に授与していた楯について理事会で廃止することが決定され、関連規定である学会奨励賞に関する申し合わせ改定案についても理事会で承認された旨報告がなされた。

<受賞者> (敬称略)

石巻地域 COPD ネットワーク (代表：利部なつみ)
研究業績題目：石巻地域 COPD ネットワーク (ICON)

第 4 号議案 医療の質特別賞受賞について〔報告事項・審議事項〕

堀江診療報酬適正化委員長より、選考結果について報告があった。一次選考 292 演題、二次選考 53 題があり、委員会、理事会で審議した結果、資料記載の 5 件が本会に諮られ承認された。

<受賞者> (敬称略)

[呼吸リハビリテーション領域]

演題名：間質性肺疾患に対する呼吸リハビリテーションと神経筋電気刺激の併用療法の効果
筆頭演者名：善田督史 (国際医療福祉大学市川病院リハビリ室) 職種：理学療法士

[酸素療法・呼吸管理領域]

演題名：High Flow Nasal Cannula 導入患者における人工呼吸器移行に関連する因子の検討
筆頭演者名：山本晃市 (KKR 高松病院臨床工学科) 職種：臨床工学技士

[疾病管理領域]

演題名：COPD 患者のエネルギー代謝を予測するパラメータの探索
筆頭演者名：白畑亨 (埼玉医科大学呼吸器内科) 職種：医師

[その他の領域]

演題名：CPAP 遠隔診療に関する実態調査の報告：診療報酬改定直後と 1 年後の比較
筆頭演者名：高橋順美 (京都大学大学院医学研究科呼吸管理睡眠制御学講座) 職種：看護師
演題名：通所介護における費用対効果と介護保険上の問題点
筆頭演者名：六反田雄一 (恵友会霧ヶ丘つだ病院) 職種：理学療法士

第 5 号議案 2019 年度事業報告〔報告事項〕

① 2019 年度事業報告

議長の指名により、事務局から配付資料に基づき 2019 年度の事業報告がなされ、学術集会・地

方会の開催や学会誌の発行等が報告された。

② 会員数の推移状況

議長の指名により、事務局から、資料 P18～20 にかけて職種別・支部別・都道府県別の一般会員数について報告があった。2019 年度は COVID-19 の影響で学術集会等が延期や中止を余儀なくされ新規入会数が伸び悩んだ結果、4,500 名を下回ったこと等が報告された。

第 6 号議案 2019 年度決算報告〔報告事項・審議事項〕

配付資料に基づき、桑平財務委員長より決算報告がなされ、事務局より補足説明があった。2019 年度は、第 29 回学術集会が盛会に終了したこともあり、前年度並みの 20 百万円を上回る当期経常増減額が確保できた旨の報告があった。黒澤監事より監査報告があり、2019 年度決算は承認された。

第 7 号議案 2020 年度事業計画ならびに予算（案）〔報告事項〕

議長の指名により、事務局から、配付資料に基づいて 2020 年度事業計画案が報告された。続いて、桑平財務委員長より、2020 年度予算について報告が行われた。2020 年度については、COVID-19 の終息が見いだせない中、今後の状況次第では予算（2 百万の黒字）を下回る決算の可能性が示唆された。

第 8 号議案 名誉会員・功労会員候補について〔審議事項〕

<2020 年度>

名誉会員候補：赤柴恒人先生、大田健先生、千住秀明先生、村上正人先生、榊原博樹先生
石崎武志先生、望月吉郎先生、有田健一先生、名嘉村博先生

功労会員候補：高橋弘毅先生、一和多俊男先生、桑平一郎先生、鈴木栄一先生

理事会から推薦された 2020 年度の候補者全員が承認された。

第 9 号議案 役員の選任について〔審議事項〕

議長より、理事・監事全員は本総会終結時をもって任期満了し退任するため、本総会において改選したい旨が述べられた。先般実施した理事選挙で選出された下記理事候補関係者ならびに関係者から推薦された監事候補を候補者毎に議場にその選任の可否を諮ったところ、全ての候補者が満場一致で承認可決された。また、付議された理事候補については全員本会に出席しており、監事については 1 名の欠席はあるものの、総会決議を前提に既に就任承諾書の提出をいただいているため、役員就任は全員承諾された。

理事候補：石川朗、植木純、大平徹郎、桂秀樹、川山智隆、黒澤一、神津玲、近藤康博、権寧博、
関川清一、竹川幸恵、田邊信宏、玉木彰、津田徹、富井啓介、仲村秀俊、中山勝敏、
長谷川智子、長谷川好規、平井豊博、福家聡、堀江健夫、宮川哲夫、森由弘、吉川雅則

(25名)

監事候補：一和多俊男、岩永知秋、陳和夫（3名）

第10号議案 定款変更（一部改定）について〔審議事項〕

議長の指名により、事務局から、8月23日開催の理事会で承認された定款の一部改定について、配付資料に基づいて説明があった。

第37条（理事会決議）に第2項を追加し、理事会のWebオンライン会議の開催を可とし、多数決での議決を有効とするもので、本案を議場に諮った結果、3分の2以上の多数の賛成により、承認された。

第11号議案 理事会報告について〔報告事項〕

議長の指名により、事務局から、配付資料に基づいて、2019年度に開催された理事会の審議結果について報告があった。主な議案について、審議内容と議決結果について説明があった。

第12号議案 各種委員会報告〔報告事項〕

① 総務委員会報告

一和多総務委員長から8月23日に開催した委員会審議内容について報告があった。第33回学術集会会長については、第2号議案で報告した通り黒澤一先生を推薦した。また次期理事長候補として植木純先生を代議員総会に推薦することを決議した。2020年度名誉会員・功労会員について、候補者推薦基準に基づいて審議を行い、第8号議案で承認された先生方を推薦した。

② 財務委員会報告

桑平財務委員長から7月に開催された書面による委員会審議について、第29回学術集会決算報告、第30回学術集会予算、2020年度予算案、退職給付引当金の設定、棚卸資産の除却、支部学術集会等中止に伴う決算処理について審議した結果、承認された旨の報告がなされた。

③ 編集委員会報告

森編集委員長から編集委員の変更、投稿規定の改定、投稿論文における倫理審査について、J-STAGE投稿審査システムの申請、第28回学術集会依頼論文の投稿、用語集の掲載、論文採択状況、転載許諾状況について報告がなされた。

④ 将来計画委員会報告

陳将来計画委員長より、国際交流の推進、高齢化社会を迎えての本学会役割、アンケート調査、学会の認定資格、日本呼吸療法医学会との相互交流について検討した旨の報告がなされた。併せて、今夏4学会の協力を得て実施した「人工呼吸管理を要する重症新型コロナウイルスSARS-Cov-2(COVID-19)肺炎患者に対する呼吸リハビリテーションに関する実態調査」について、来年3月開催の学術集会で報告予定であるとの説明があった。

⑤ 呼吸リハビリテーション委員会報告

植木委員長より、2020年2月23日～24日開催の第16回呼吸リハビリテーション研修会を中止しZoom等遠隔での開催を検討していること、第17回についても開催を検討中であること、3学会合同で改訂を進めている「呼吸リハビリテーションマニュアルー患者教育の考え方と実践ー」について、題名を改称して「呼吸器疾患患者のセルフマネジメント支援マニュアル」にて2021年3月までに版組完成の目標設定でレタープレス社と調整済みで編集作業を再開している旨の報告がなされた。

⑥ 診療報酬適正化委員会報告

堀江診療報酬適正化委員長より、委員会構成員、2019年度事業報告、2020（令和2）年度診療報酬改訂提案結果、第3回医療の質特別賞の選考状況、2020年度活動計画が報告された。

⑦ 広報委員会報告

玉木広報委員長より、2019年度学会ホームページの追加更新内容等が報告された。2020年度事業計画として、ホームページ掲載情報の更新として、特にCOVID-19関連ページの追加掲載等を行っていくとの説明がなされた。

⑧ 呼吸ケア指導士認定委員会報告

桂呼吸ケア指導士認定委員長より、2020年呼吸ケア指導士認定（初回・更新）、新型コロナウイルス感染症による特別措置、呼吸ケア指導認定講習会のWeb開催について報告された。2020年初級呼吸ケア指導士については、27名を更新認定、2020年呼吸ケア指導士初級認定は初回86名・同上級認定は初回2名を認定した。

⑨ 呼吸ケアスキルアップセミナー実行委員会報告

桂呼吸ケアスキルアップセミナー実行委員委員長より、2019年11月開催の第6回セミナーの結果報告、第7回セミナーは2021年3月18日に延期したこと、第4回セミナー講演要旨の学会誌掲載等が説明された。第5回、第6回の掲載については、COVID-19の関係で遅れている旨の報告があった。

⑩ 倫理・COI（利益相反）委員会報告

長谷川倫理・COI（利益相反）委員長より、10月16日に委員会を開催、新役員および第31回学術集会プログラム委員のCOI自己申告書の提出内容確認を行ったこと、学術集会演題登録時の倫理審査登録について指針・基準等のマニュアル化については日本内科学会や日本呼吸器学会等の基盤学会の整備状況を踏まえて対応することとしたこと、第31回学術集会でも演題登録時の倫理審査の申告を継続することが報告された。支部学術集会の倫理審査申告については、今後の理事会での承認を得て対応する。

⑪ 国際化委員会報告

桑平国際化委員長より、第1回委員会での活動方針を採択した結果について報告がなされた。ATS,ERS,AARC等の海外学会の参加報告の情報共有、学術集会での国際セッションの企画、日本医学会の加盟の国際化に関する基準の調査、ジョイントミーティングによる交流推進、スポークスパーソンとして長谷川智子先生を指名、AARC交流窓口として金子教宏先生への依頼について、報告がなされた。

⑫ 禁煙推進委員会報告

一和多禁煙推進委員長より、2019年度の活動として禁煙宣言の制定、禁煙推進学術ネットワークと連携して活動を行ったことなどが報告された。また、2020年度の活動として、出版物の企画（医療従事者向け禁煙教育資材の作成、呼吸器疾患患者のセルフマネジメント支援マニュアルの禁煙部分の執筆協力、会員禁煙状況調査、学術集会時の禁煙指導講習会の企画、その他セミナー、講習会への講師派遣などを計画しているとの説明がなされた。

⑬ 呼吸不全緩和ケア検討委員会報告

津田呼吸不全緩和ケア検討委員長より、日本呼吸器学会と共同で作成している「非がん性呼吸器疾患による呼吸不全に対する緩和ケア指針」の進捗状況について報告がなされた。2019年8月から、2020年1月迄3回の集合会議、その後、Zoomによる主メンバーの通読ならびに校正会議を経て最終原稿を作成、10月12日～26日まで両学会のパブコメを実施し、現在最終稿をまとめているとの報告がなされた。

⑭ 医学教育事業検討委員会報告

桑平医学教育事業検討委員長より、e-learningコンテンツ作成・公開の進捗状況ならびに公開から10月までの学会員視聴回数が6,932回に達したこと、2016年度GSK助成金の追加活用として、呼吸器疾患患者のセルフマネジメント支援マニュアルの作成、29回学術集会のストーリーミング配信、作成者・査読者への謝金支払いがなされたとの報告があった。併せて、2020年度のGSK医学教育事業助成が採択され、3年で15百万円の助成を新たに受けることになった旨の報告もなされた。

⑮ 呼吸リハビリテーション手技マニュアル作成委員会報告

神津呼吸リハビリテーション手技マニュアル作成委員長より、マニュアル作成の基本方針、内容構成、発刊スケジュールについて報告がなされた。

第13号議案 その他について

桑平理事より、COI基準が厳格化され、ガイドライン等の作成委員への就任条件が厳しくなっていることについて質問がだされ、倫理・COI委員長の長谷川理事より、当学会でもCOI細則を改定して、ガイドライン作成委員の就任条件を厳格化した。他学会でもこの傾向にあり、COIの多い委員長や委員には、クリニカルクエスション投票時の自粛等を規定化している。また、委員の個別COIの開示も実施する。今後はCOIに加え、倫理審査でも厳格化が要請されており外科系の学会では既に基準明確化の方向にあり、COIや倫理審査等で今後は学会活動に影響がでてくる可能性もあるとの説明がなされた。

以上を以て、すべての審議は終了した。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、定款第23条第2項に基づき、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

2020年11月14日

一般社団法人日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
定時代議員総会

議 長 一和多 俊男 印

議事録署名人 黒澤 一 印